



維持管理に配慮した構造細目や工夫事例

No.		3-4
基本情報	構造形式	消波ブロック被覆防波堤
	設計年次	平成 22 年度
	建設年次	平成 22 年度～平成 31 年度(予定)
維持管理に 配慮した 構造細目や 工夫	項目	上部工・ケーソンに、ケーソン側壁の穴あき観測孔を設置
	検討時期	施工段階
	理由・期待 される効果	消波工衝突によるケーソン側壁の穴あきについて、消波工を撤去せずとも把握することが可能となる。(中詰材流出の有無等)
	主な使用材料	観測孔:VP200A
写真	 <p style="text-align: center;">穴あき観測孔状況(上部工打設前)</p>  <p style="text-align: center;">穴あき観測孔状況(上部工打設後)</p>	

